



中部電力パワーグリッド

資料2-3



# 2024年度出力制御見通し

2024年9月18日

中部電力パワーグリッド株式会社

○ 2024年度の再エネ出力制御量について、再算定を実施した。

## 【算定条件】

○ 第50回系統WG（2024年3月11日）で報告した際の考え方をベースに、2024年4月から6月の需給実績、太陽光・風力の設備量、連系線活用量の実績などを踏まえ、以下の点を修正した。

○ 太陽光・風力設備量：前回計画より設備量ベースで1.4%増加

○ 供給力：揚水の作業計画を最新の計画に修正

# 2024年度短期見通し(見直し)について

## <2024年度出力制御見通し>

	出力制御率（制御電力量） [太陽光・風力それぞれの出力制御率] ※3					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償ルール	制御対象設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2024年度見込み	0.95% (8,406万kWh) [太陽光: 1.00%] [風力: 0.07%]	0.31% (104万kWh) [太陽光: 0.32%] [風力: 0.00%]	0.35% (966万kWh) [太陽光: 0.35%] [風力: 0.00%]	0.37% (143万kWh) [太陽光: 0.41%] [風力: 0.03%]	0.78% (9,620万kWh) [太陽光: 0.81%] [風力: 0.07%]	0.35% (5,650万kWh) [太陽光: 0.36%] [風力: 0.06%]
(参考) 2024年度 エリア全体オンライン化	0.29% (1,717万kWh) [太陽光: 0.29%] [風力: 0.26%]		0.32% (1,957万kWh) [太陽光: 0.32%] [風力: 0.34%]	0.32% (122万kWh) [太陽光: 0.32%] [風力: 0.31%]	0.31% (3,797万kWh) [太陽光: 0.31%] [風力: 0.26%]	0.23% (3,797万kWh) [太陽光: 0.23%] [風力: 0.23%]

※1 オンライン代理制御分を含む。オンライン代理制御分は、オフライン相当の8時間停止に換算した値。

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する制御量の割合。

また、出力制御電力量については実際の制御時間で評価した値。（オフライン本来制御およびオンライン本来制御・代理制御の合計）

※3 四捨五入の関係で数字が合わない場合がある。

## <2024年度出力制御見通し(全設備)の内訳>

	実績	見通し	
	4~7月	8~3月	年度合計
全設備	0.85% (3,970万kWh) [太陽光: 0.87%] [風力: 0.22%]	0.14% (1,681万kWh) [太陽光: 0.15%] [風力: 0.02%]	0.35% (5,650万kWh) [太陽光: 0.36%] [風力: 0.06%]

# 参考 | 2024年度短期見通しについて

## <2024年度出力制御見通し>

第50回系統WG報告資料抜粋

	出力制御率（制御電力量） [太陽光・風力それぞれの出力制御率]					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償ルール	制御対象設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2024年度見込み	1.34% (11,787万kWh) [太陽光: 1.40%] [風力: 0.37%]	0.33% (112万kWh) [太陽光: 0.34%] [風力: 0.05%※3]	0.43% (1,186万kWh) [太陽光: 0.43%] [風力: 0.05%]	0.53% (206万kWh) [太陽光: 0.57%] [風力: 0.17%]	1.08% (13,291万kWh) [太陽光: 1.12%] [風力: 0.34%]	0.62% (10,079万kWh) [太陽光: 0.63%] [風力: 0.29%]
(参考) 2024年度 エリア全体オンライン化	0.66% (3,841万kWh) [太陽光: 0.66%] [風力: 0.69%]		0.71% (4,334万kWh) [太陽光: 0.71%] [風力: 0.69%]	0.70% (274万kWh) [太陽光: 0.70%] [風力: 0.69%]	0.69% (8,448万kWh) [太陽光: 0.69%] [風力: 0.69%]	0.52% (8,448万kWh) [太陽光: 0.52%] [風力: 0.59%]

※1 オンライン代理制御分を含む。オンライン代理制御分は、オフライン相当の8時間停止に換算した値

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する制御量の割合

※3 P5において、オンライン制御可能な旧ルールの風力発電事業者は存在しないことになっているが、2023年10月以降にオンライン化しており、実態にあわせた制御率を算定。

※4 四捨五入の関係で数字が合わない場合がある。

# 2024年度当初想定に対する増減分析

- 2024年度当初想定と比較し、4～7月の出力制御実績については減少した。一方で、8月以降の見通しについては太陽光発電の設備量増加が当初想定を上回ったことにより出力制御が増加する見込み。

項目	内容
需要	<ul style="list-style-type: none"><li>4～6月実績：当初想定が必要電力量に対して3%減少</li><li>8月以降見通し：2024年度供給計画の各月の電力量見通しを踏まえ当初想定から変更なし</li></ul>
連系線活用率	<ul style="list-style-type: none"><li>4～6月実績：概ね当初想定通り。</li><li>8月以降見通し：当初想定から変更なし。</li></ul>
太陽光、風力	<ul style="list-style-type: none"><li>4,5月実績：当初想定に対し出力が7%程度減少したことから、当初想定に対し出力制御実績が減少した。</li><li>6月実績：当初想定に対し出力が1%程度増加したことから、当初想定に対し出力制御量実績が増加した。</li><li>8月以降見通し：設備量について4～6月実績を反映し、当初想定に対して設備量が1.4%増加で再算定実施。</li></ul>
揚水、原子力、火力	<ul style="list-style-type: none"><li>4～6月実績：単日作業の変更はあったものの、長期にわたる停止はなかった。</li><li>8月以降見通し：最新の作業制約を踏まえ、揚水可能量を修正し、再算定実施。</li></ul>
その他	—

# 電源（太陽光、風力）のオンライン化

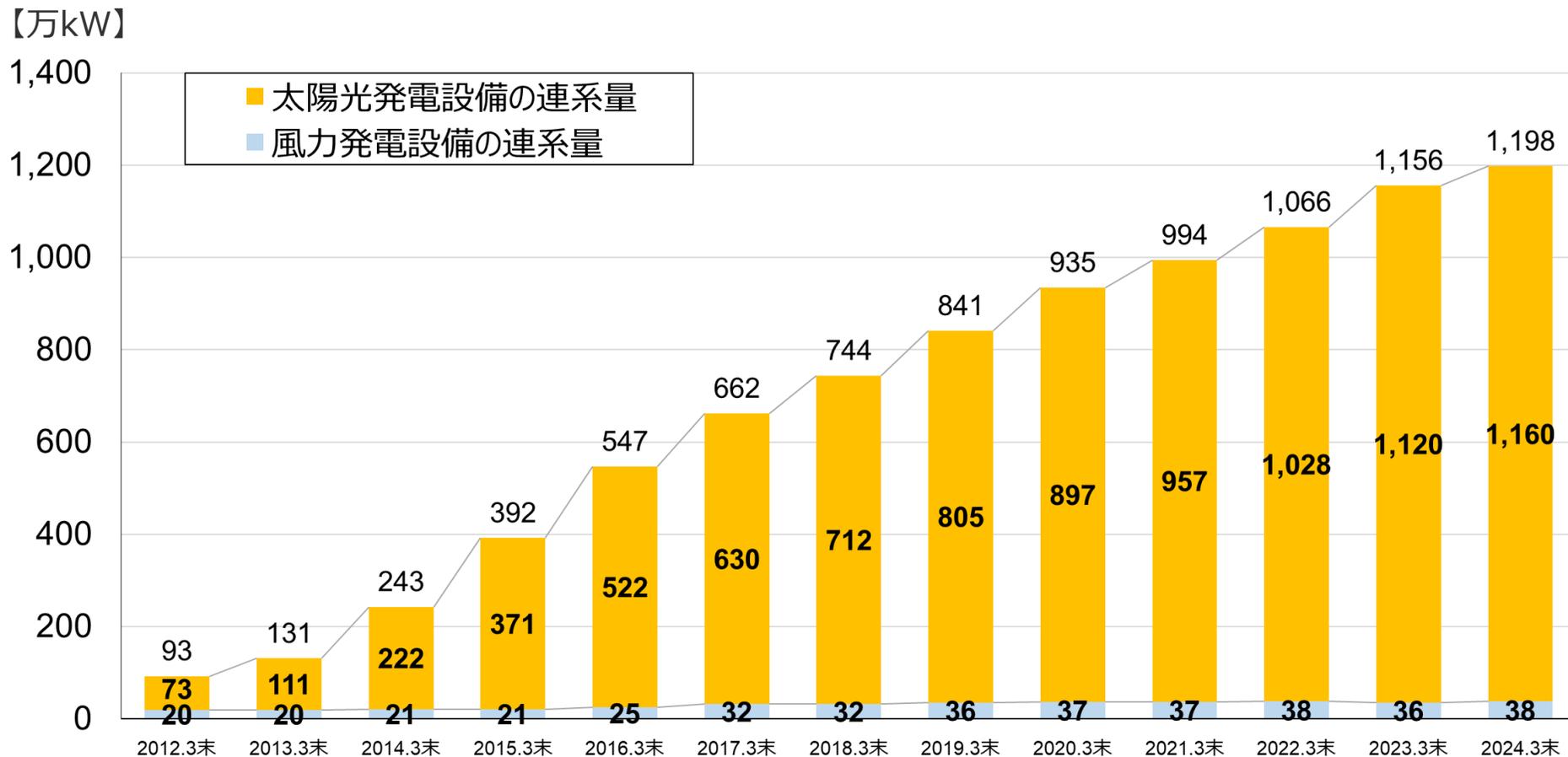
- 旧ルール事業者に対してはオンライン化のメリットを説明し、出力制御機能付PCS等への切替の促進活動を継続して実施。これにより、至近の出力制御の応答率（履行率）の改善にも繋がる。

項目		2024年3月末	(参考) 2023年9月末
太陽光	① オンライン化率 $((② + ④) / (② + ③ + ④))$	57.8%	55.5%
	② 新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	229.8万kW	212.1万kW
	③ 旧ルール、オフライン事業者	190.6万kW	190.7万kW
	④ オンライン制御可能な旧ルール事業者	31.1万kW	25.4万kW
	⑤ 旧ルール事業者のオンライン切替率 $(④ / (③ + ④))$	14.0%	11.8%
風力	⑥ オンライン化率 $((⑦ + ⑨) / (⑦ + ⑧ + ⑨))$	10.1%	8.1%
	⑦ 新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	2.6万kW	2.6万kW
	⑧ 旧ルール、オフライン事業者	34.0万kW	29.6万kW
	⑨ オンライン制御可能な旧ルール事業者	1.2万kW	—
	⑩ 旧ルール事業者のオンライン切替率 $(⑨ / (⑧ + ⑨))$	3.4%	0.0%

※ 「旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者、新ルール・無制限無補償ルール事業者（太陽光は、10kW以上）」について算定。

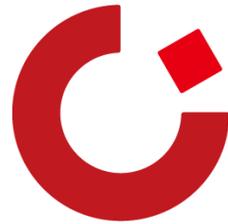
# (参考) 再エネの導入状況

○ 中部エリアの太陽光・風力発電設備の連系量は、2024年3月末で1,198万kW（太陽光1,160万kW、風力38万kW）となった。



余剰買取制度 →  
 RPS制度 →

FIT制度



中部電力パワーグリッド